



2012（平成24）年1－3月期四半期別GDP速報（1次速報値） における推計方法の変更について

平成24年4月26日
経済社会総合研究所
国民経済計算部

四半期別GDP速報（1次速報値）の推計では、利用する基礎統計の一部において、公表時期の関係から3か月目の値が得られないものがあるため、最初の2か月の前年比を用いるなどの方法により、補外推計を行っている。

2012（平成24）年1－3月期1次速報値では、上記補外推計において、東日本大震災の発生した2011（平成23）年3月値による影響を取り除くため、以下のとおり推計を行う予定である。

推計方法変更の考え方

○ 供給側推計

1. 製造業

製造業については、「鉱工業指数」、「生産動態統計調査」等を用いて推計している。このうち、「生産動態統計調査」については3か月目の値が得られない。このため、以下の分類については、関連する「鉱工業指数」と「国内企業物価指数」を乗じたものを用いるなどの方法により、補外値を推計する。

（対象となる品目分類）

「製材・木製品」、「家具・装備品」、「なめし革・毛皮・同製品」、「一般産業機械」、「電子・通信機器」、「その他の輸送機械・同修理」、「精密機械」

2. その他の産業

その他の産業については、「毎月勤労統計調査」、「国土交通月例経済」、「特定サービス産業動態統計調査」等を用いて推計している。この中で、3か月目の値が得られないものについては、業界統計や過去の動向を加味して、補外値を推計する。